

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームやすらぎの家

作成日 : 平成 23 年 2 月 8 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		介護計画が現状に即した計画となっていない。	ケア会議で情報収集や情報を共有し、利用者の思いや意向にそった支援を目指す。	1、実践されている介護支援を介護サービス計画書に載せて、計画書を活かす。	6ヶ月
2		運営推進会議やグループホームの運営について、共通認識ができていない。	運営推進会議、地域・外部機関との関わり、管理者・計画作成担当者の仕事の内容を職員に認識できるようにする。	1、運営推進会議の内容、運営に関わる事、役割などを全職員に報告する。 2、家族への報告や家族の思いを共有できるように情報を提供する。	6ヶ月
3		事業所独自の非常災害訓練が行われていない。	災害時の職員連絡網、役割分担により避難誘導・安全の確保ができる。	1、連絡網・役割分担の作成、それにそった災害訓練をおこなう。 2、夜勤時を想定し、施設内職員間との連携、通報・避難誘導訓練をおこなう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。



